

## 《下北沢問題の経緯》

### 2001年

4月 ・小田急線・梅ヶ丘駅～代々木上原駅の地下化、「補助54号線」の計画変更、「区画街路10号線」の新設の都市計画決定方針と、それら事業の同時進行が発表される

### 2003年

1月 ・小田急線地下化、「補助54号線」計画変更、「区画街路10号線」新設が都市計画決定

11月 ・“Save the 下北沢”が旗揚げ、以後要望書提出や地域・マスコミへのアピール活動等を行う

### 2004年

3月 ・小田急線地下化を事業認可

11月 ・世田谷区、「下北沢駅周辺地区地区計画骨子案」発表

12月 ・地元の専門家を中心とし開かれた街づくりを求める「下北沢フォーラム」が発足、以後地元住民・商業者らを対象に勉強会を開催

### 2005年

4月 ・雑誌『SWITCH』が「下北沢は終わらない」と題する特集を組む

6月 ・“Save the 下北沢”1万人の署名と独自の交通量調査、代替案を世田谷区と東京都に提出

7月 ・都市計画の専門家20名（蓑原敬、青木仁ら）が連名で「下北沢駅周辺地区地区計画素案の取り扱いに付いての要望書」を世田谷区に提出

・ 蓑原敬らによる『歩く楽しさの街 シモキタらしさの発見』シンポジウム開催

・ TBS“ニュース23”が特集で下北沢問題を報道

10月 ・朝日新聞10月29日、一面トップに「シモキタらしさ消えてしまう？」を掲載

11月 ・社会学者の吉見俊哉、都市計画家の蓑原敬、編集者の仲俣暁生らによるシンポジウム『シモキタ解体』開催（タウン誌「ミスアティコ」が主催）

・ 曾我部恵一・無戒秀徳ら下北沢にゆかりのあるミュージシャンがチャリティー・ライブ"The Sound of Shimokitazawa"を開催

・ 都市計画家の陣内秀信、吉見俊哉らによる「江戸東京フォーラム」、下北沢で開催

12月 ・「54号線の見直しを求める下北沢商業者協議会」が旗揚げ、以後要望書提出などの活動を行う

### 2006年

1月 ・「下北沢フォーラム」が行政計画への賛否を問うアンケートを実施、反対が多数という結果が出る

・「54号線の見直しを求める下北沢商業者協議会」主催のデモ、大熊ワタルのチンドンとともに200人が区庁舎へ

2月 ・「54号線の見直しを求める下北沢商業者協議会」510の商業者が、世田谷区長に要望書を提出

3月 ・“Save the 下北沢”、「まもれシモキタ！パレード」を開催、渋さ知らズとともに300人で下北沢をデモ

4月 ・「下北沢フォーラム」が、市民案（代替案）の発表と、都市計画の専門家による緊急アピールのシンポジウムを開催（蓑原敬、大方潤一郎、陣内秀信、福川裕一らが参加）

5月 ・「下北沢駅周辺地区地区計画原案」の説明会（16条説明会）、区民の反対にもかかわらず世田谷区が強行開催

6月 ・「54号線の見直しを求める下北沢商業者協議会」、世田谷区長と直接面談

・ 国際的な学生ワークショップ「アーバン・タイフーン」、下北沢で開催

・ 吉見俊哉ら文化研究者による学会「カルチュラルタイフーン」が下北沢を舞台に開催、特別シンポジウム「都市を構想する」で宇沢弘文、蓑原敬、町村敬志、佐々木葉、高橋ユリカが講演

7月 ・世田谷区、「補助54号線」「区画街路10号線」の事業認可申請を東京都に提出